

般職2名、保育士2名、障害者枠1名、農業土木1名の採用予定。令和7年4月1日現在、第4次定員管理計画上の目標人数156名を3名上回っている。第5次定員管理計画は今年度中に作成する。

〈河内克也委員〉

①育児休業中の手当は給与の何割か。②定員管理計画は公表するのか。

〈総務課主幹〉

①育児休業中は給料の約6割～7割が共済組合の手当金で半年間支給され、残り半年間は給与の5割支給。②策定次第ホームページ等で公表する。



【公園整備について】

〈山本涼子委員〉

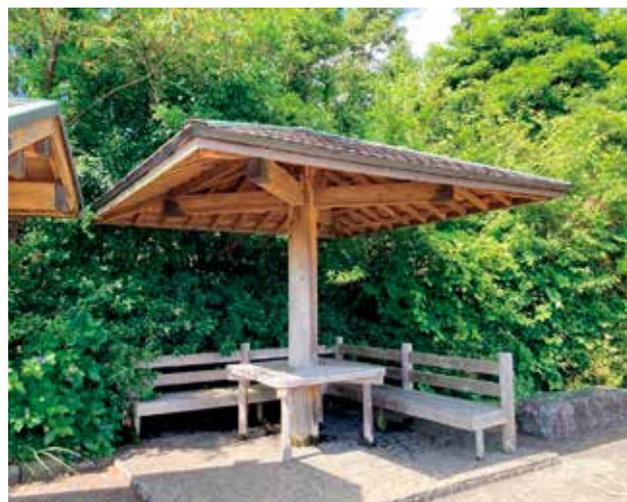
「多目的広場整備工事費（タテット）」、繰り越し事業の「あそ望の郷機能拡張事業」について公園整備に関する説明を求める。あそ望の郷以外で小規模公園（村民のための野外コミュニティスペース）の設置を提案。また、阿蘇の木材を活用した遊具など景観に配慮する形を提案。

〈企画観光課長〉

多目的広場公園整備の経費が内訳で約3500万円。遊具については上部に南鉄をイメージした列車の模型を設置し、下部には南鉄の枕木を再利用したのぼり棒を現在検討中。

〈子育て支援課長〉

あそ望の郷公園整備に関しては「未来会議」でも進めていく。また、あそ望の郷ありきではなく村内全体を見た中で候補地を決める。公園の内容については他町村の公園と差別化した遊具施設の整備を来年度以降進めたい。自然豊かな南阿蘇の景観にマッチした色にしたい。



【その他】

【教育資料館設置について】

〈橋本功委員〉

村内の廃校、閉校した教育施設の資料および記録を残すための教育資料館の設置を提案。

〈教育長〉

まだ構想段階だが、歴史民俗資料館移設も考えているため、教育資料館併設も検討する。

〈村長〉

過去を守り、歴史を繋ぎながら質の高い教育と環境をつくっていく。まずは保護者の負担軽減で、修学旅行、そして、食育の観点から、あか牛の給食補助も出している。

阿蘇くまもと臨空キャンパスに移転した東海大学の木之内キャンパス長からも村の子ども達を大学見学に招待したいという話も頂いている。

【合併浄化槽の補助金について】

〈水・環境課長〉

本村では合併浄化槽の設置に関して、高度処理型浄化槽を推奨し補助金を交付している。近隣市町村では「高度処理型にこだわる必要はない」と通常型合併浄化槽への補助金交付のほうが主流であり、本村でも数年間協議を進めてきた。

それを踏まえて文教厚生常任委員会にて報告したが、委員会での指摘を受け、本村としては引き続き高度処理型浄化槽について推奨していく。